

# 病児保育の充実により、地域で働きながら子育てできる安心感と利便性が向上

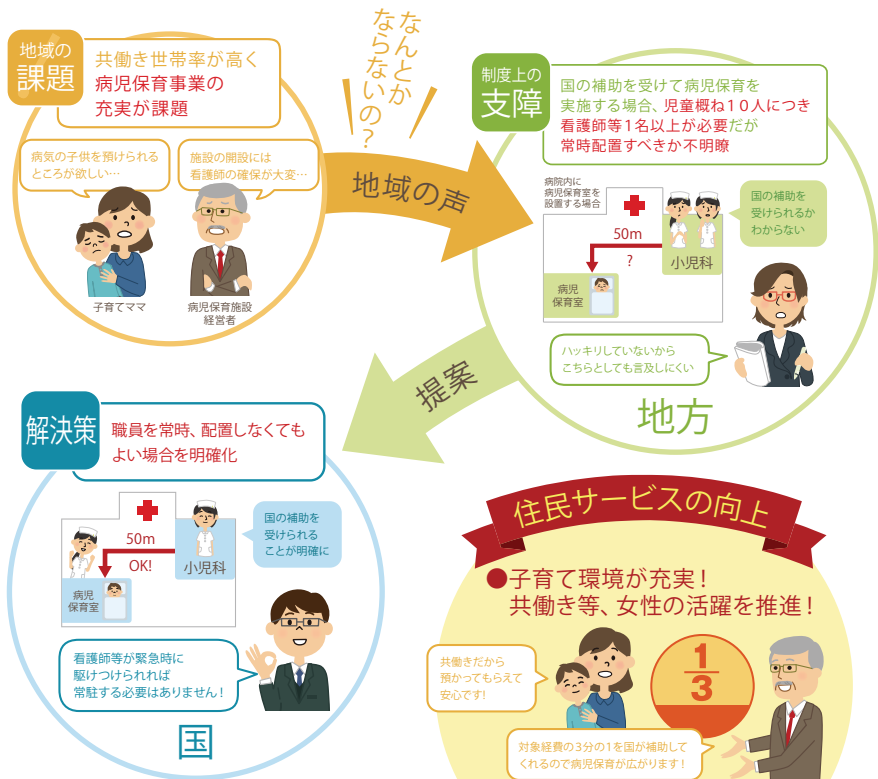
～病児保育における看護師等の常駐要件の明確化～

詳しくは  
提案募集方式データベース  
「27年」  
管理番号「215」  
で検索!  
QRコードからもアクセスできます



## ポイント

病児保育における看護師等の常駐化要件が明確化されたことで、限られた看護師等を効率的に配置した病児保育施設の開設が可能となり、働きながら子育てができる環境を整備 (通知)



## 共働き率の高い県内で病児保育施設が開設され、仕事と子育ての両立を後押し



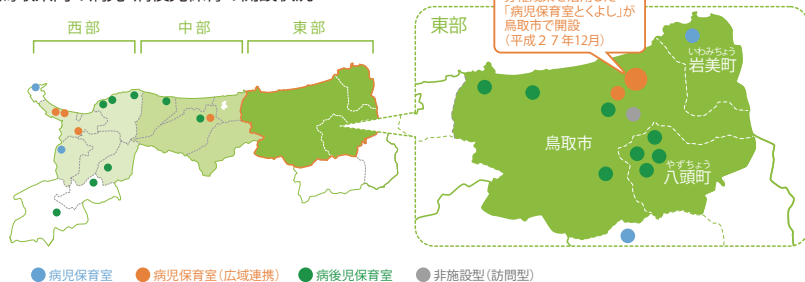
### 取組の概要 「3市町の広域拠点としての病児保育室を開設」

- 鳥取県の共働き世帯の割合は31%と全国平均(25%)より高く、子ども・子育て支援と両輪、またはそのセーフティネットとして必要不可欠な病児保育事業の充実が課題となっていた。このため、平成27年に本件を提案した。
- 提案の実現により、鳥取市に分権改革の成果を活用した医療機関併設型の病児保育施設(病児保育室とくよし)が開設した。(平成27年12月)
- 鳥取市と近隣の岩美町と八頭町の鳥取県東部地域3市町は、相互に病児の受入れを行うネットワークの構築などを内容とする広域連携協定を締結し、「病児保育室とくよし」は当該地域の病児保育の拠点の一つとして位置づけられている。

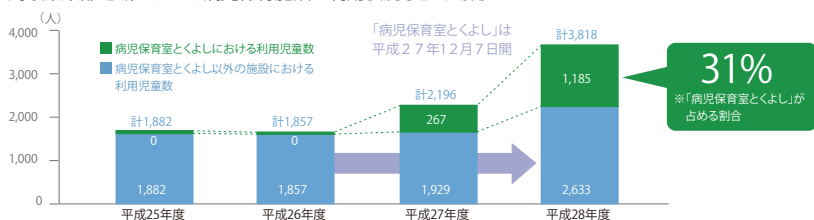
### 取組の成果 「病児保育施設の開設により安心して働ける環境作りが進む」

- 平成28年度に鳥取県東部地域で病児保育を利用した児童数は3,818人(延べ人数)のうち、「病児保育室とくよし」の利用者は31%に相当する1,185人となっており、同地域の受入人数の拡大に大きく貢献している。
- 利用者からは、共働きで急に仕事が休めない時に「安心して子どもを預けられるので仕事に集中できる」といった評価が寄せられている。また、経営者からも医療機関併設型のメリットを活かし、「医師が定期的に巡回するなど、よりよい病児保育サービスを提供している」との前向きなコメントが聞かれる。

鳥取県内の病児・病後児保育の開設状況



鳥取県東部地域における病児保育施設の利用状況(延べ人数)



「病児保育室とくよし」さんのおかげで安心して  
仕事に専念できます!

関係者の声

病児保育室とくよし  
利用者



「病児保育室とくよし」さんは、いざという時でも安心して働ける心の拠り所です!

我が家は核家族で共働きのため、子どもの急な発熱や病気でも、大事な仕事が入っている時には仕事を休むことが難しいことも多々あり、いつも助けていただいています。特に季節の変わり目に体調を崩すことが多く、平成29年の1年間だけで12回利用させてもらっています。室内はとても綺麗で清潔感もあり、保育士さんたちもいつも笑顔で泣きっぱなしの娘を優しく見守ってくださいています。

特に嬉しいのは、希望すれば1日に2回、体温やお昼ごはんの食べた量、機嫌の良さなど詳細にメールでお知らせしてくれることです。また、子どもの表情の写真付きなので離れていても子どもの体調が大体把握できます。このような安心して預けることができる場所が近隣にできたことを大変喜んでおり、仕事にも専念できるようになりました。

提案の実現を活かし、質の高いサービスを  
提供しています

関係者の声

病児保育室とくよし  
代表取締役  
徳吉 公司 氏

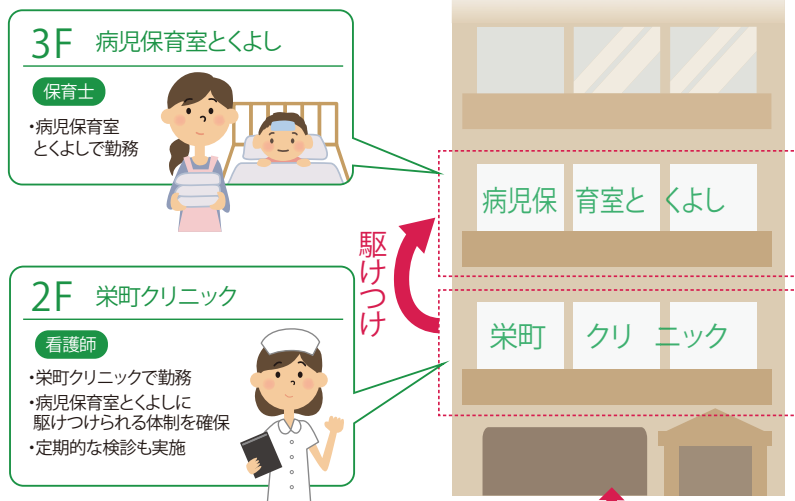


私も徳吉薬局は、普段より、患者さんのお母さんから「今日も仕事を休まないといけない」「仕事に出たらすぐに保育園から呼び出されて」など、親の抱える悩みを聞く機会が度々あり、そんな時に安心して預けられる場所を作りたいという想いがずっと前からありました。

また、病児保育施設がもっと多くできれば、日本が抱える人口減少問題、女性活躍などにも貢献できるとの想いから、県や市のご担当者に相談を重ねたところ、一定の条件にある場合には看護師等は常駐要件とはしない旨が提案募集方式により明確化されたことを知りました。薬局を経営する私どもとして一番の悩みが「看護師の確保」でしたので大変喜んでます。

当初看護師の常駐を前提とした事業計画と比べると、開設時だけでなくランニングコストの面でも、採算性が格段に向上しています。また、医師・看護師の定期巡回によりの確なアドバイスができるなど、質の高い病児保育を提供できていると感じています。

「病児保育室とくよし」の運営体制



「病児保育室とくよし」の入口



「病児保育室とくよし」の外観



病児保育の様子

## 提案の実現により、東近江市（滋賀県）に初めて 病児保育室が開設

### 取組の概要 ニーズに応え、病児保育施設の開設を進める

- 東近江市にはこれまで病児保育施設が存在していなかったが、住民に対するニーズ調査などの結果、一定のニーズがあることが確認されたことから、関係者との意見調整を行うなど鋭意検討を進めてきた。
- しかしながら、常駐する保育士や看護師等を新たに採用することが、人手不足や財政上の制約などから大きな課題となっていた。
- 提案の実現を受け、東近江市あいとう診療所に隣接する東近江市愛東支所を一部改築することにより、市内で初めてとなる「市立愛東病児保育室」を支所内に開設した（平成28年7月）。



### 取組の成果 地域が一つとなり課題を克服。更なる開設も予定に

- 市内の身近な場所に病児保育室が開設されたことで、子育て世代に仕事と子育ての両立への安心感が広がった。
- 愛東病児保育室をモデルに、更にニーズに応えるため、平成30年4月には新たに2ヶ所の開設が予定されている。
- 利用者からは、「これまでは市内に病児保育室がなかったので、子どもの体調が悪いときは仕事を休むしかなかったが、病児保育室ができたことで仕事を休まなくてもよくなり助かっている。また、医師や看護師もすぐそばにいてくれるので安心して子どもを預け仕事に行くことができるようになった。」といった評価が寄せられている。

#### 愛東病児保育室の運営体制



#### 東近江市の病児保育施設の設置状況等





医師、看護師、園長、保育士そして東近江市が連絡を密にし、お子様の安全と保護者に安心を提供しています(横田 哲朗 医師兼所長)



愛東病児保育室の正面玄関前



病児保育の様子

### 保育士と看護師の密な連携運営により、安心できる病児保育サービスを提供します。

#### 関係者の声

東近江市  
あいとう診療所  
看護師  
高橋 圭子氏



私が勤める東近江市あいとう診療所と東近江市立愛東病児保育室は渡り廊下を挟み、距離にして約20m程度です。子どもの状態に何かあれば病児保育室にいる保育士から内線電話で連絡があり、すぐに駆けつけることができるので保育士の方も安心して病児保育に従事していただいています。また、医師も必要に応じて直ぐに駆けつけられる点も、ご利用いただいている保護者の方々にはご満足いただいているところです。

### 人員配置の明確化により、市民の声に 応えることができました。

#### 関係者の声

東近江市  
子ども未来部幼児課  
係長  
中井 基弘氏



平成26年当時、滋賀県内で本市を含む4市には病児保育施設がなく、設置が望まれていましたが、開設場所や看護師の配置を含む運営方法等に課題がありスムーズには進んでいませんでした。そのような中、最も大きな課題の一つであった運営方法の調整について、地方分権改革・提案募集方式により、看護師等の常駐化要件が明確化されたことで、市内初の病児保育施設の開設に至り、市民の要望に応えることができました。